

ノ斗子マシイムガ 第一三三工場ノ見株國シラテテ 組ミキラミヤリウ工一死シヨ
トミライル 第二工場ノ見株ヲダスゲヨ川
第一三四の又株身二四日ノ首切リノ大ナハオレ達ノ上ニリ下サレヨトミライムガ川
首切リノ大ナヲ團結ノ巨彈ヲ折碎シヨ
日本郵政 洋文ス文部

別表 工場閉鎖だ首切だ (右々)

前重役のホームチヤ管業政策と現重役の不念組内部ノ時劇は昨午系工
場閉鎖の危機トハランデ居た。

俺達は工場閉鎖反対、首切反対、黙つて来た。
大田支配人は、組合の代表者ト工場閉鎖、絶対にはいと云った。

だが念之 第二工場は工場閉鎖になった。首切は公た！
重役の言葉はあてにならない！ 女の次は即一三五工場だ！

第二工場の整理は次第三百名の首さかると云ふ所ぞ
俺達は絶対反対だ！

組合に入れ！ 組合に入らぬ者はすぐ加入しろ！
日本郵政 洋文ス文部

5 2 20
10223

労務第五七四號

昭和五年二月廿四日

警視總監 丸山鶴 吉

内務大臣安達謙藏殿
社會局長 官 殿
各廳府縣長官殿

(北海道 京都市 大阪府 奈良) 北野 後知 藤岡 福 園)

東洋毛スリニ株式會社電ノ第二工場閉鎖爭議 (第五報)

ニ関スル件

要旨 會社ニ毎日ノ如ク總同盟、組合同盟側ノ各代表ト別個ニ交渉中ナルカ一致ト
見出サズ引續キ折衝中

屢報標誌爭議其後ノ状況左記ノ通ニ有之